



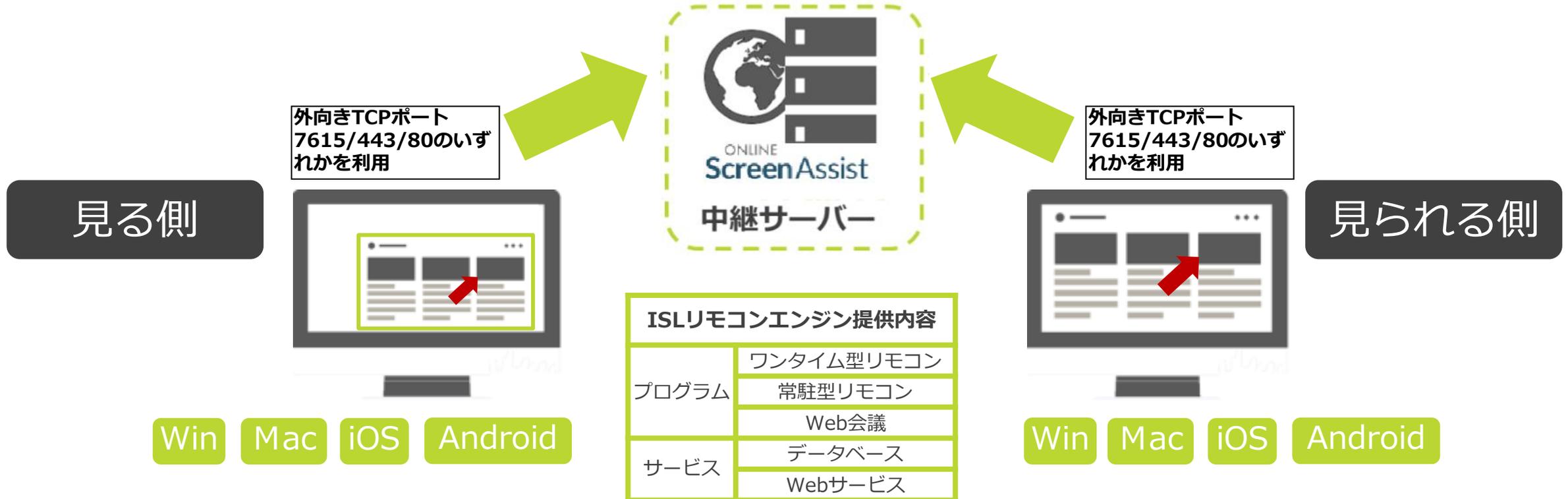
# OnlineScreenAssist パブリッククラウドライセンスのセキュリティについて

santec株式会社  
株式会社オーシャンブリッジ

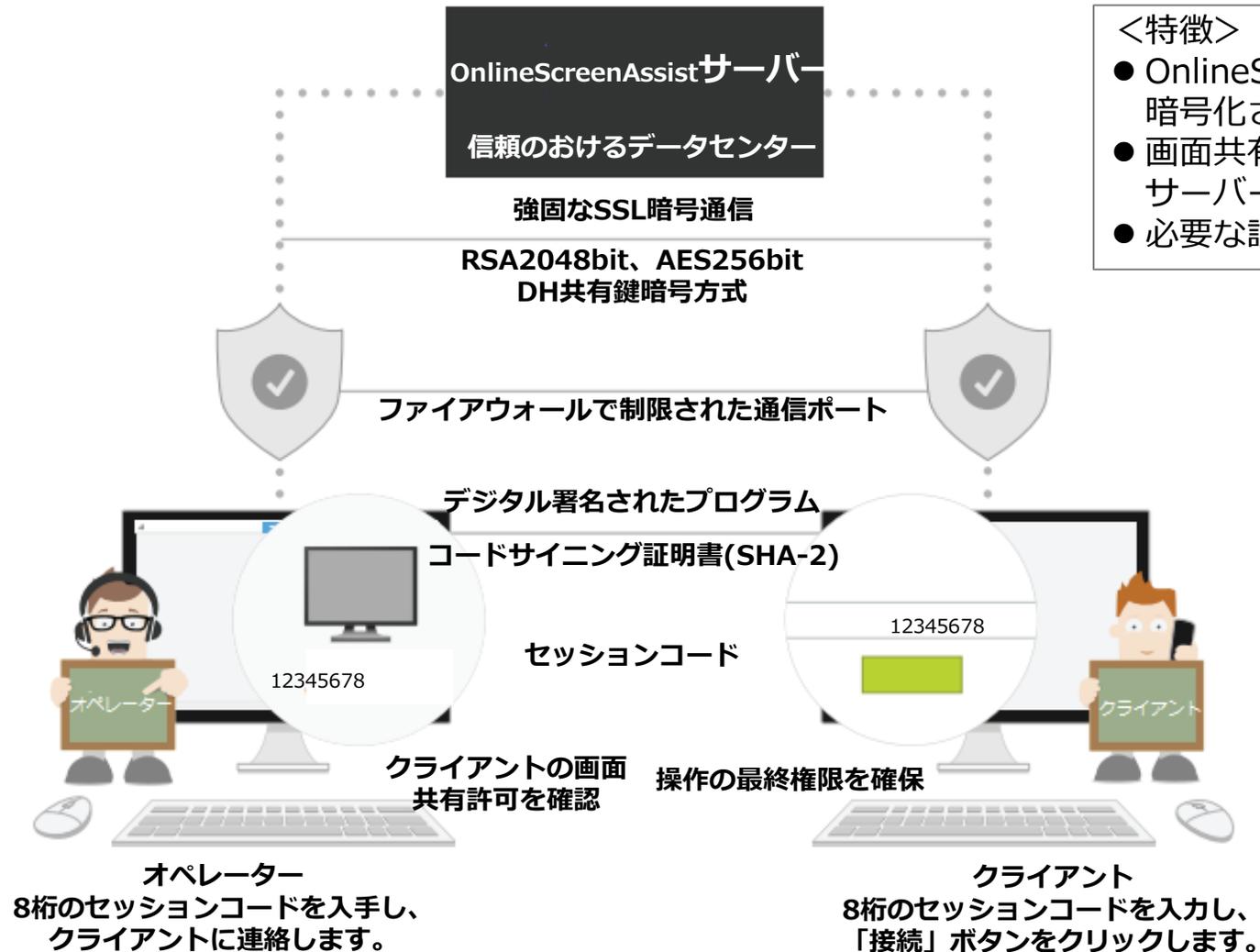
isl\_securityinfo-221208  
OSA\_securityinfo-240301

# OnlineScreenAssistの仕組みについて

- OnlineScreenAssistは中継サーバー型のリモートコントロールツールです。
- すべての通信が『中継サーバー』を経由するため、「オペレーター端末が単独でクライアント端末に接続できない」仕組みです。接続状況や接続履歴を中継サーバー上で確認できます。
- 内向きのポートを開放する必要がないため、セキュアなリモートアクセスを行うことができます。



# OnlineScreenAssistセキュリティ基本概要



## <特徴>

- OnlineScreenAssistの通信はSSLで暗号化されます
- 画面共有の内容、転送したファイルはサーバー上に残りません
- 必要な証明書は自動的に更新されます

# OnlineScreenAssistクラウドライセンスの安全性と安定性について

## 1. 通信データ

- OnlineScreenAssistのセッションはオペレーターPCとクライアントPCのデスクトップ共有やファイル転送を実現しています。
- デスクトップ共有はイメージの転送によって実現するもので、中継サーバーにファイルは蓄積されません。
- ファイル転送機能を使用する際も、送信先PCに保存先が指定される方式をとりますので、PC間でやり取りされたいかなるファイルもサーバーに蓄積されることはありません。  
※ Web会議（ISL Groop）では、サーバー上にファイルをアップロードし、ファイル共有を行う機能がございますが、アップロードしたファイルは権限を持つユーザーが削除可能です。

## 2. 通信データの暗号化

- OnlineScreenAssist製品では、ファイル転送時を含めた全セッションを通じSSL 256bit-AESの暗号化を行っております。  
※ OnlineScreenAssist製品のプログラムには、デジタル署名（SHA-2）が付与されています。

# OnlineScreenAssistクラウドライセンスの安全性と安定性について

## 3. 操作上の許可確認

- OnlineScreenAssistのセッションは「両者合意のもとで」リモートセッションを行うことを基本としています。
- デスクトップ共有を開始する前に、オペレーターがクライアントPCの画面表示および操作の許可を求める「許可確認画面」を表示することで、クライアントの許可を得た後にデスクトップ共有が開始される環境を実現しています。

## 4. デスクトップ共有時の操作権限

- デスクトップ共有をオペレーターに許可した後も、マウスを動かすだけで、クライアントはいつでもオペレーターの操作を一時的に停止することができます。
- その他にも、画面操作を停止し画面表示のみとしたり、テキストチャットモードのみ許可することも可能ですので、クライアントが安心して利用できます。

# OnlineScreenAssistクラウドライセンスの安全性と安定性について

## 5. 信頼のおける管理会社での運用

- 日本に置かれたOnlineScreenAssist製品の接続を可能にするグリッドサーバーは、信頼のおけるサーバー管理会社の管理下で運用されています。
- 不正アクセスの対策として、SSH等でグリッドサーバーに接続を行う場合のアクセス元を制限しております。
- ログの取得を行うと同時に、脆弱性が存在する場合にはパッチの適用を行うなど、情報漏えいを防止する為に最善の対策を実施しております。

## 6. グリッド技術を採用したサーバーの耐障害性

- OnlineScreenAssistのクラウドサービスは世界中に点在したグリッドサーバーにより支えられています。
- これらグリッドサーバーは最先端グリッド技術により連結されており、接続サーバーの偶発的トラブルにも他のサーバーがセッションを維持する機能を備えております。こうして、安定したサービスを提供しております。

# SSLとは

- SSLとは：  
SSL (Secure Sockets Layer) とは、ネットワークを介したコンピューター同士の通信を安全にやり取りするための技術で、OSI参照モデルにおけるセッション層ならびにトランスポート層において機能するプロトコル。遠隔地のコンピューター同士がネットワークを介して情報をやり取りする際の、認証や暗号化による安全な通信実現のためのプロトコルや技術の総称です。
- SSLによって防ぐことのできるリスク： 「盗聴」「成りすまし」「改ざん」「否認」など
- OnlineScreenAssistで使用するSSL通信について：  
AES-256bit ⇒ データ通信の暗号化、256bit暗号データを解読することは現在の技術では現実的に不可能です。  
RSA-2048bit ⇒ セッション開始時に行うデータ交換方式で、2048bit暗号データを解読することは現在の技術では現実的に不可能です。

# 管理機能

OnlineScreenAssist パブリッククラウドライセンスの管理設定で、セキュリティの強化を実現できます。

機能名	機能概要
オペレーター作成	管理者はオペレーターを無制限に作成できます。
オペレーターパスワード変更	管理者による操作でオペレーターのパスワードを変更できます。
利用機能制限	オペレーターごとにファイル転送、遠隔プリント、音声・ビデオチャットの使用を禁止できます。
利用履歴	IPアドレス、接続時間、送受信を行ったファイル名のログを保持し、管理画面から閲覧できます。
アカウント利用停止	オペレーターの利用を停止することができます。
オペレーター利用制限	オペレーター単位で、IPアドレスまたはMACアドレスによる利用制限を行うことができます。
二段階認証	ログイン時に、SMS、Google Authenticator、Eメールのいずれかの方法によるセキュリティコードを使用した認証を行うことができます。



つかえるITを、世界から。



santec

製品、サービス、その他ご質問やご不明な点などございましたら  
下記までお問い合わせください

santec Japan株式会社 ソリューショングループ  
(東日本エリア)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2 高橋ビル4F  
Tel:03-6256-9066 FAX:03-6256-9076

(西日本エリア)

〒485-0802 愛知県小牧市大草年上坂5823  
フォトニクスバレー大草キャンパス

Tel:0568-55-3654 FAX:0568-79-1718

[http://www.santec.com/osv/  
solution@santec.com](http://www.santec.com/osv/solution@santec.com)